

# お知らせ

資料提供先：島根県政記者会

平成 30年 1月 12日

## 【山陰道】朝山・大田道路が 平成 30年 3月 18日に開通します。 ～インターチェンジ名称が正式に決定しました～

### ◆【山陰道】朝山・大田道路の開通について

現在、工事中の朝山・大田道路（大田朝山IC～大田中央・三瓶山IC、延長6.3km）について、平成30年3月18日に開通します。

今回の開通により、「事故多発箇所である仙山峠を回避する、安全・安心な日常生活確保」「県西部への広域周遊観光客数増加」等への第一歩となります。

#### ■山陰道の開通に期待される効果

- ①主要都市間の移動時間の短縮
- ②安全性、快適性の向上
- ③通行止めによる迂回の解消
- ④広域周遊観光の向上

なお、3月18日の一般開放時刻などについては、詳細が決まり次第あらためてお知らせします。

また、多伎・朝山道路、朝山・大田道路に設けるインターチェンジ（IC）3箇所の名称が正式に決定しましたので、お知らせします。

■インターチェンジ(IC)名称		
決定したインターチェンジ(IC)名称	所在地	これまで使用していたインターチェンジ(IC)名称(仮称)
いずも たき <b>出雲多伎</b>	しまね いずも たきちょうくむら 島根県出雲市多伎町久村	たき 多伎
おおだ あさやま <b>大田朝山</b>	しまね おおだ あさやまちょうあさくら 島根県大田市朝山町朝倉	あさやま 朝山
おおだちゅうおう さんべさん <b>大田中央・三瓶山</b>	しまね おおだ くてちようさつか 島根県大田市久手町刺鹿	おおだ 大田

#### 【問い合わせ先】


国土交通省 中国地方整備局 松江国道事務所

副所長	たかくち としひろ 高口 敏弘	(内線204)
(工事担当) 建設専門官	こだま かつし 児玉 克史	(内線404)
(広報担当) 計画課長	たかざき おさむ 高崎 修	(内線261)

〒690-0017 島根県松江市西津田2丁目6-28

TEL : 0852-60-1344 又は 60-1345 FAX : 0852-25-9438

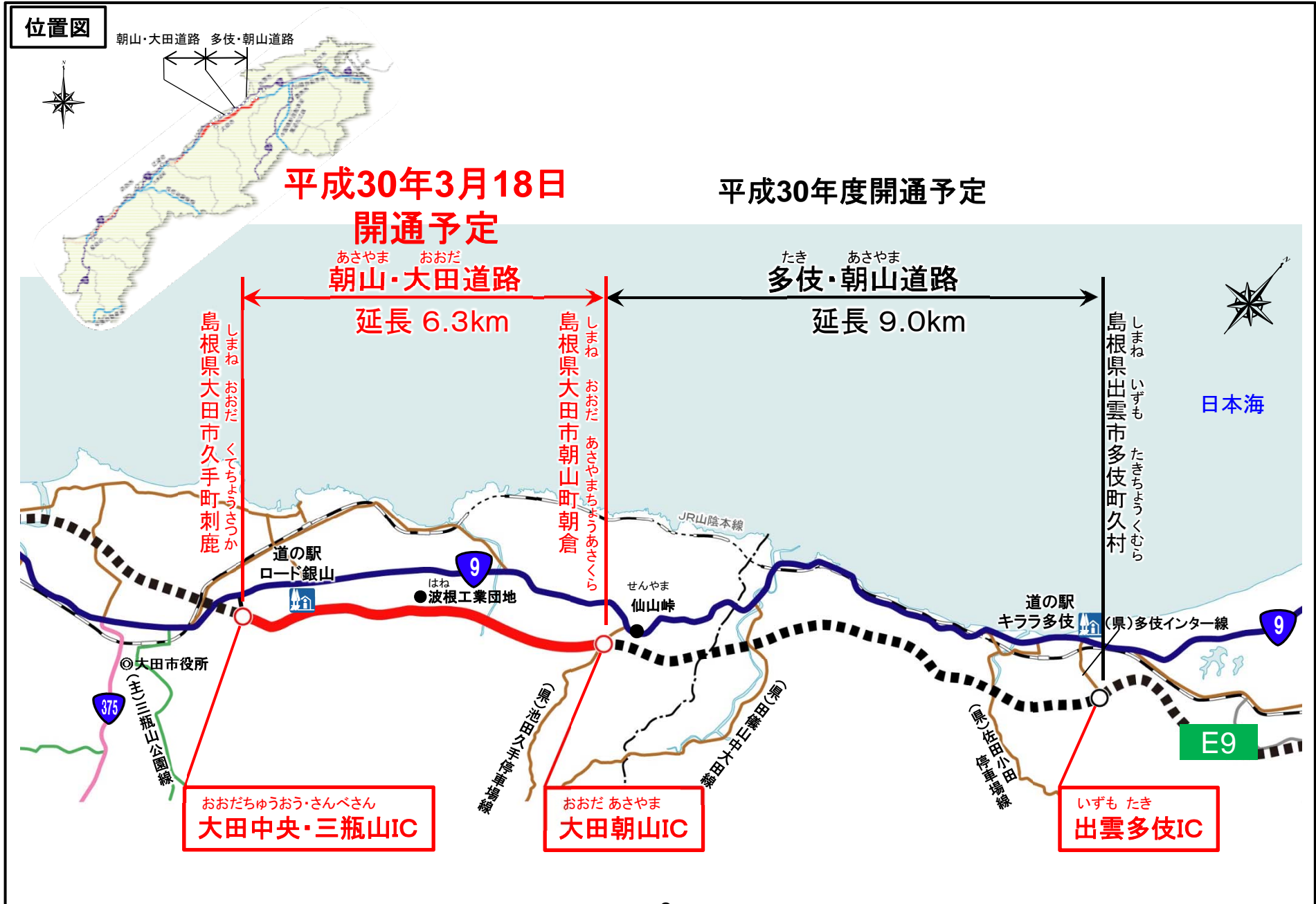
HP : <http://www.cgr.mlit.go.jp/matsukoku/>

 : [http://twitter.com/road\\_matsue](http://twitter.com/road_matsue)

QRコード(Twitter)



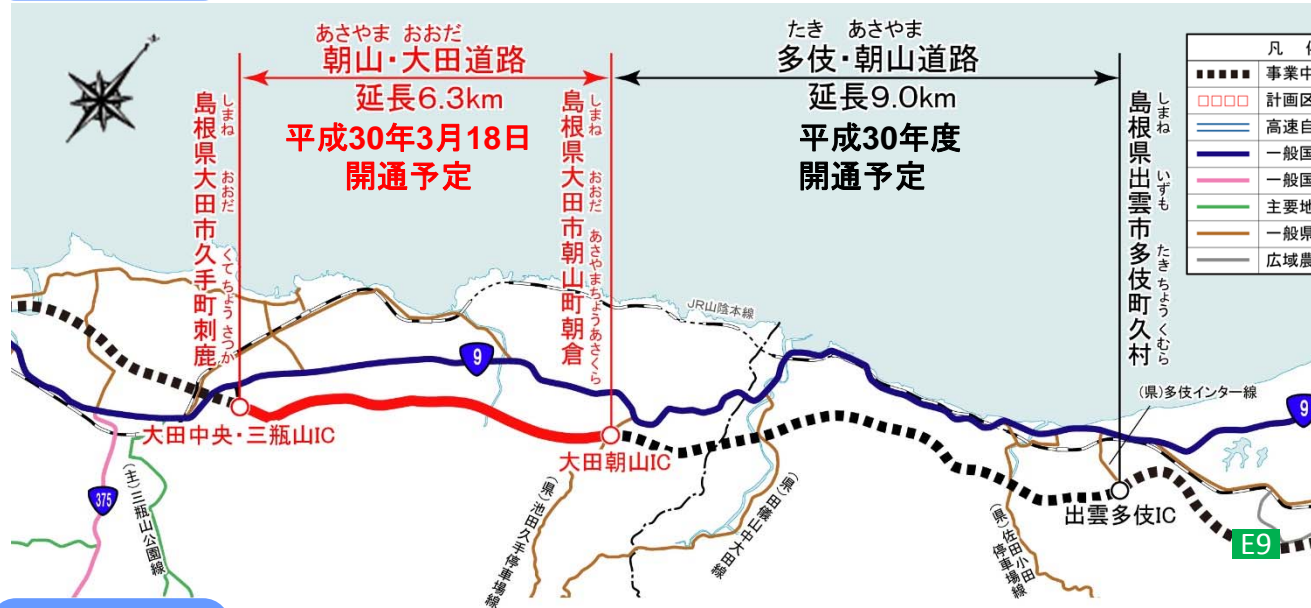
# 多伎・朝山道路、朝山・大田道路のインターチェンジ名称



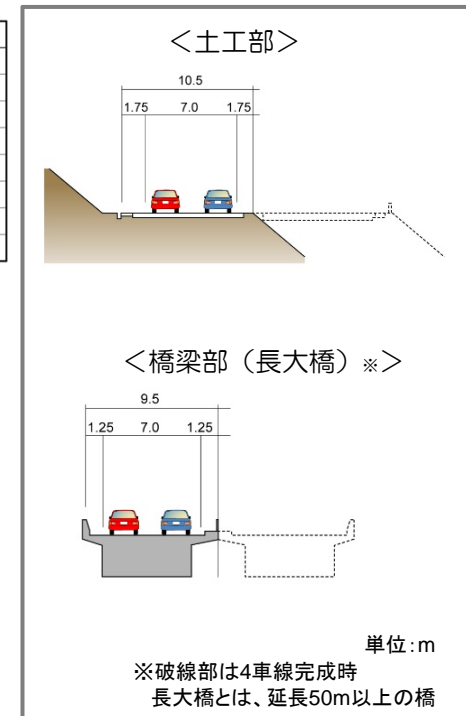
# 事業の概要（朝山・大田道路）

- 山陰道の一部である朝山・大田道路は、全長6.3kmの自動車専用道路であり、平成19年度より事業に着手しました。
- このたび、平成30年3月18日に大田朝山IC～大田中央・三瓶山IC間の延長6.3kmが開通となります。

## 計画概要図



## 標準断面図(朝山・大田道路)

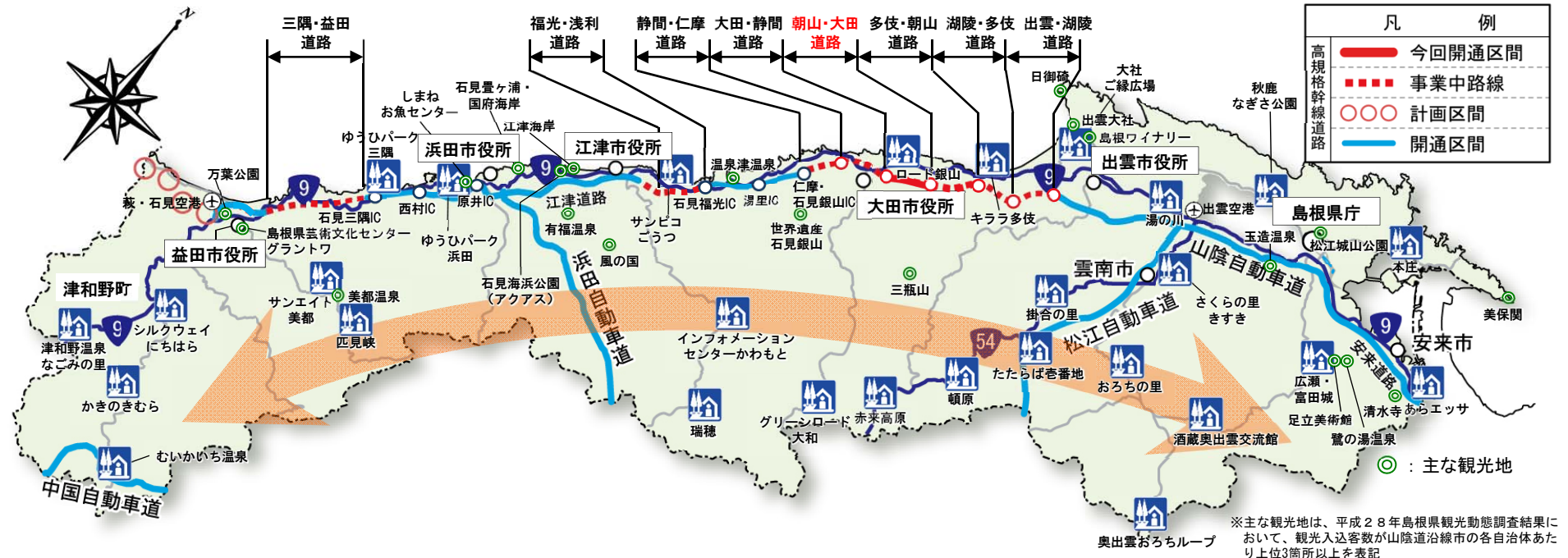


## 事業概要

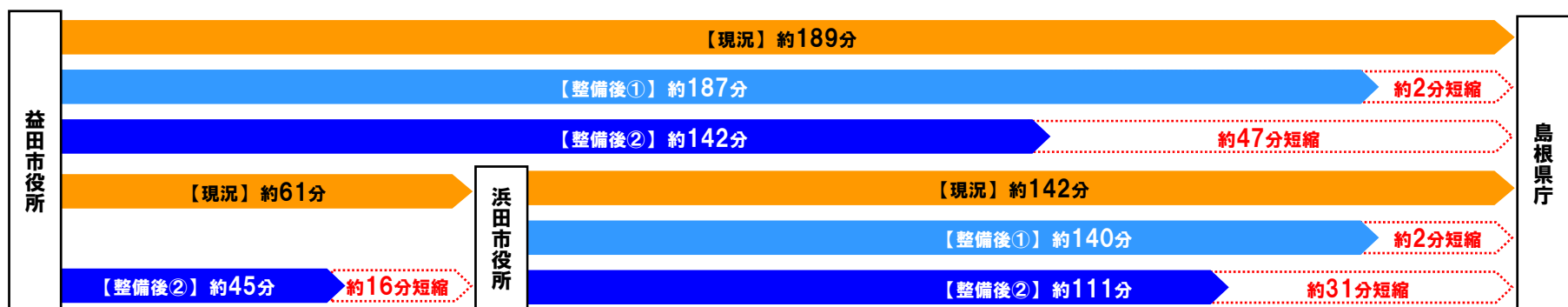
	あさやま おおだ 朝山・大田道路	たき あさやま 多伎・朝山道路
起終点 (上段：起点) (下段：終点)	おおだ あさやまちょう あさくら 大田市朝山町朝倉 おおだ くてちょう さつか 大田市久手町刺鹿	いずも たきちょう くむら 出雲市多伎町久村 おおだ あさやまちょう あさくら 大田市朝山町朝倉
延長	6.3km	9.0km
車線数	暫定2車線	暫定2車線
開通	平成30年3月18日開通予定	平成30年度開通予定

# ① 主要都市間の移動時間の短縮

●朝山・大田道路を含む島根県内の山陰道整備により主要都市間の所要時間が短縮され、相互の地域間交流の活発化、人流・物流・産業の活発化、地域経済の活発化が期待されます。



## 所要時間短縮効果(予測)

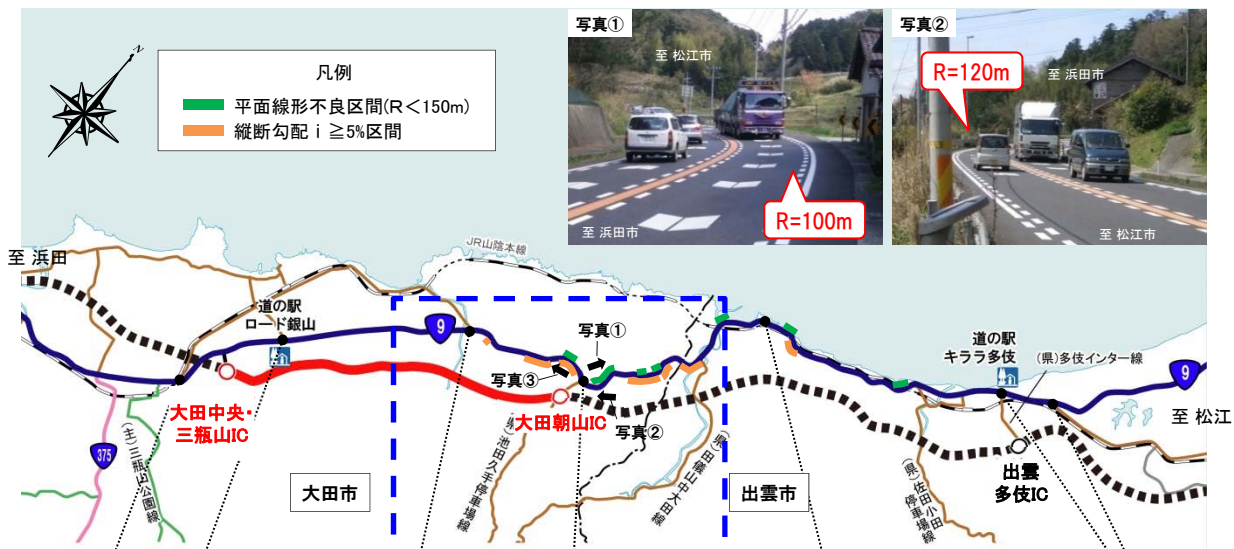


※①朝山・大田道路が整備された場合、②山陰道の未開通区間(H26年度末時点)が全て整備された場合として算出。山陰道はV=70km/h、その他はH27道路交通情勢調査の混雑時旅行速度より算出

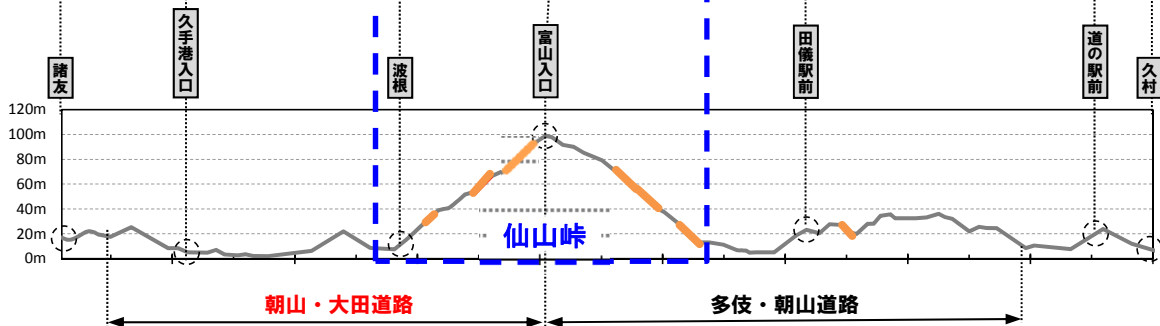
## ② 安全性、快適性の向上

- 朝山・大田道路、多伎・朝山道路の並行区間である国道9号には、交通難所の仙山峠があり、急カーブや急勾配箇所が連続しており、約25件/年(H18-H27平均)の交通死傷事故が発生しています。
- 山陰道の整備により、危険区間を回避でき、安全で快適な走行が可能となります。

### 国道9号の線形不良区間

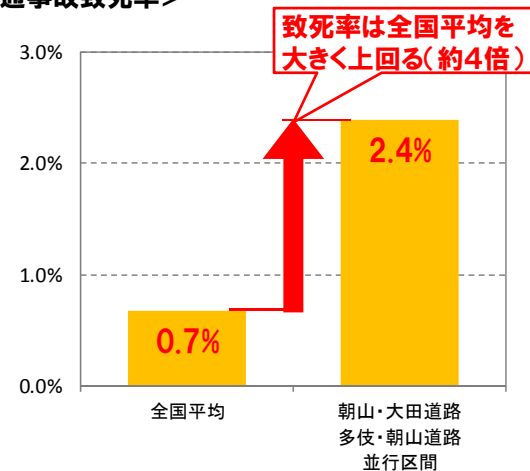


### 国道9号の急勾配区間



### 交通事故発生状況

#### <交通事故致死率>



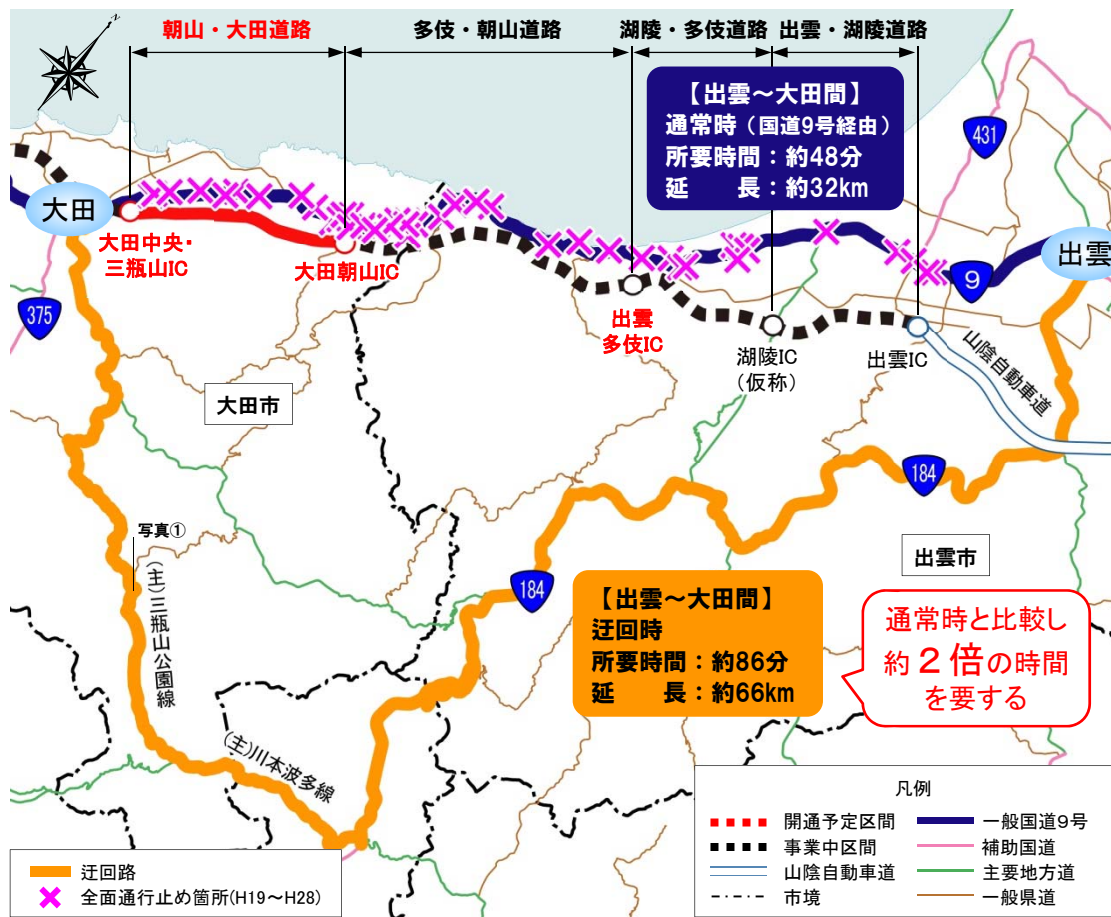
交通事故致死率: 死傷事故件数に対する死亡事故件数の割合  
 資料: 交通事故総合データベース(H18-H27)、全国平均は交通統計(H18-H27)



### ③ 通行止めによる迂回の解消

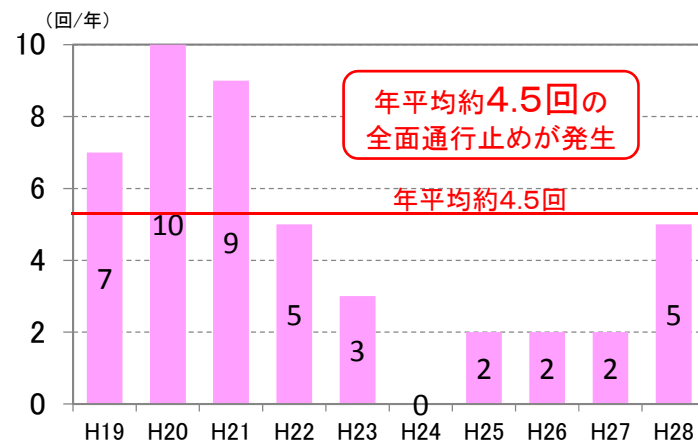
- 国道9号では、10年間(H19-H28)で45回の全面通行止めが発生しており、大幅な迂回を強いられるなど、生活や物流活動に支障をきたしています。
- 山陰道の整備により、通行止め時の代替路が確保され、道路の信頼性向上が期待されます。

#### 全面通行止め実績と迂回状況



※全面通行止め箇所は出雲IC～大田中央・三瓶山IC並行区間で発生したものを記載  
 ※H27道路交通情勢調査混雑時旅行速度で算出、迂回路については大型車が通行可能なルートを選定  
 出雲～大田間：渡橋中央交差点（出雲）～和江港入口交差点（大田）

#### 出雲IC～大田中央・三瓶山IC並行区間の 全面通行止め実績



#### 過去に発生した災害による通行止めの事例

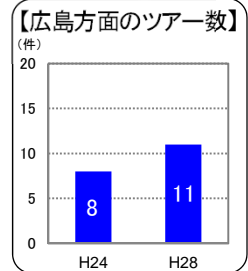
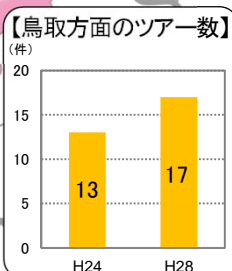
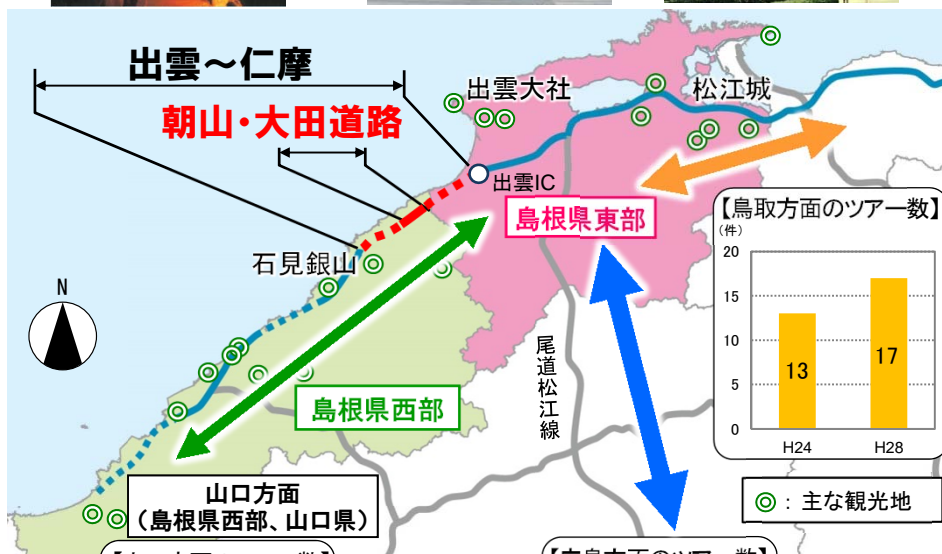
平成18年7月、出雲市多伎町の国道9号で法面亀裂箇所での進行が確認され、防護柵設置の為に、**約35時間の全面通行止め**となり、大幅な**迂回が必要**となった。



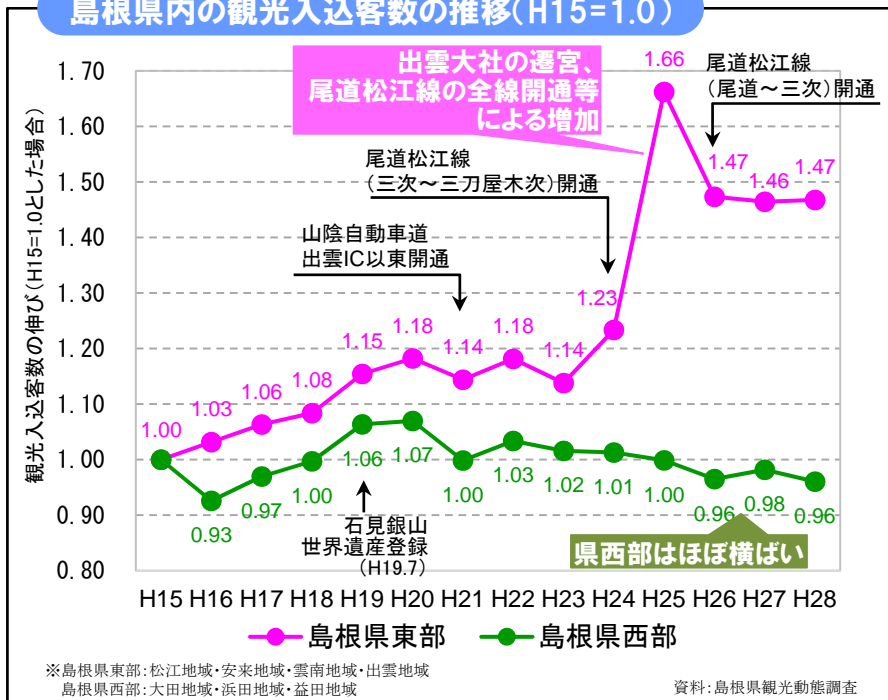
# ④ 広域周遊観光の向上

- 島根県には世界遺産等の観光資源が豊富に存在していますが、島根県東部から島根県西部・山口方面へのツアー数が少ない状況です。
- 観光入込客数についても、尾道松江線等の整備により東部で大幅に増加している一方で、西部はほぼ横ばいの状況です。
- 山陰道の整備により、東部から西部への移動時間が短縮されることで、観光客や観光ツアーの増加が期待されます。

## 島根県における観光ツアー



## 島根県内の観光入込客数の推移(H15=1.0)



## 主要観光地間の所要短縮時間



※主な観光地は、平成28年島根県観光動態調査結果において、観光入込客数が山陰道沿線市の各自治体あたり上位3箇所以上を表記  
※ツアー数はH24年8月とH28年8月を表記